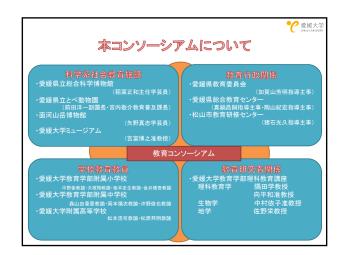
**で**愛媛大学

第6回理科教育シンポジウム 科学系社会教育施設の活用を目指した 教育コンソーシアムの設立

日時:平成30年2月10日(土)13:30~16:00 於:愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール



**で**愛媛大学

## 本シンポジウムの流れ

・シンポジウムの趣旨説明 10分程度

愛媛大学教育学部 向 平和

稲葉正和氏

宮内敬介氏

矢野真志氏

吉富博之氏

外平友佳理氏

- 各施設等での取り組み 各15分程度
  - ○愛媛県総合科学博物館の取り組み
  - ○愛媛県立とべ動物園の取り組み
  - ○面河山岳博物館での取り組み
  - ○愛大ミュージアムでの取り組み
  - ○到津の森公園・JAZAの取り組み
- 休憩 10分程度
- ・ 総合討論 終了時間まで



❤️ 愛媛大学

## なぜ、社会教育施設の活用なのか?

・ 学校教育では

学習指導要領において社会教育施設の活用を明記 →教科書においても様々な施設の活用について掲載

• 背景としては

生涯学習・社会教育の場として

教育を受ける権利として

- ·UNESCO「学習権宣言」(1985)
- ·教育基本法(第3条·第12条)
- ・ブダペスト会議(1999)「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言」

リカレント教育の場として

国際成人力調査(OECD PIAAC 2012) 日本の30歳以上の成人の通学率1.60% (ランキング18か国中で最低、最高は8.27%フィンランド)

<b>で</b> 愛媛大学				
今年度の活動				
<ul><li>ルーブリック評価表の作成→研修や教材の開発の指針として</li></ul>				
大観点	小観点	初級	中級	上級
コラボカ	担当者連携	施設の代表連絡先のみ 知っている。	教育担当もしくは学芸員と 直接連絡することができる。	
	情報収集力	施設のHPを閲覧したことが ある。	関連する書籍などの情報を 収集している。	各施設の年報や研究紀要 などの内容を把握している
カリマネカ	施設理解		バックヤードや資料保管庫 の内容について理解してい る。	
	カリキュラム	1教科1単元での活用方法 を提案できる。	1教科で複数の単元での活 用方法・アクティビティを提 案できる。	複数教科を関連させた活用 方法・アクティビティを提案 できる。
アセスカ	ワークシート	施設が開発したワークシートを活用できる。	施設が開発したワークシートを子どもの発達段階に合わせてアレンジできる。	
	アセスメント	診断的評価を実施し、子どもの現状把握を把握し、適 した導入を提案できる。	診断的・形成的・総括的評価についてそれぞれ適した 方法について理解している。	法を提案でき、評価のデザ



## 謝辭

**愛媛大学** 愛媛大学

コンソーシアムの設立, 研修会および本シンポジウムは

中谷医工計測技術振興財団 科学教育振興助成

による支援により実施運営ができております。 ここに記して感謝申し上げます。